

名取のごみ処理に関する説明会概要

⑪館腰公民館

1 日 時 令和7年7月16日（水）19:00 ～ 20:11

2 場 所 館腰公民館 ホール

3 参加者

（1）市民13名

（2）朽木環境共創課長、石川環境共創課長補佐、小山主事

4 説明事項

（1）これまでのごみ行政について

（2）現在のごみ処理について

（3）ごみに関する名取市の取り組みについて

（4）最終処分場の機能と役割について

（5）質疑応答

<質疑応答（要約）>

（1）最終処分場の概要、選定過程などに関する質疑

Q1 最終処分場は候補地5箇所から必ず決まるのか。

A1 候補地5箇所から最終的には1箇所決めたいと考えている。

Q2 候補地5箇所で想定される敷地面積が大分異なっている。植松は想定面積が小さく、掘るとすれば直ぐ横に川があり、工事費が高額になると考えられるが、どのように考えているのか。

A2 専門コンサルタントに詳細調査を依頼しているが、敷地の面積に合ったような形で、概略の図面も示されることになっている。ボーリング調査は行われませんが、過去の周辺地域における公共事業のボーリング調査を参考にしながら図面に落とし込まれることになっている。調査の中で経済性や災害危険性などの評価項目を勘案し、適地を絞り込んでいきたいと考えている。

Q3 年度末に 1 箇所に決まった後の工事期間や使用開始日はどうなっているのか。

A3 候補地の選定後に、当該地区への改めての説明や地権者との用地交渉、最終処分場の詳細設計などを踏まえて、工事が行われるため、最短でも 3～5 年程度はかかると考えている。

(2) ごみの分別に関する質疑

Q1 リチウムイオン電池を使用している製品はどのように捨てればよいのか。

A1 リチウムイオン電池と電池が分解できない小型家電は有害・危険ゴミに捨てることができる。電池が分解できる場合は、電池は有害・危険ごみで小型家電本体は複合素材製品類に捨てることができる。